

アトサヌプリの火山活動解説資料（平成30年10月）

札幌管区気象台
地域火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気などの表面現象の状況（図1-①②、図2）

監視カメラによる観測では、F1噴気孔群及びF2噴気孔群の噴気の高さは火口上概ね200m以下で、噴気活動は低調に経過しました。

・地震及び微動の発生状況（図1-③）

火山性地震は少なく、地震活動は低調に経過しました。
火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況（図1-④⑤）

GNSS¹⁾連続観測では、火山活動によると考えられる地殻変動は認められませんでした。

1) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。

この火山活動解説資料は札幌管区気象台のホームページ(<https://www.jma-net.go.jp/sapporo/>)や気象庁のホームページ(https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php)でも閲覧することができます。

この資料は気象庁のほか、国土地理院のデータを利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号 平29情使、第798号）。

今回の火山活動解説資料（平成30年11月分）は平成30年12月10日に発表する予定です。

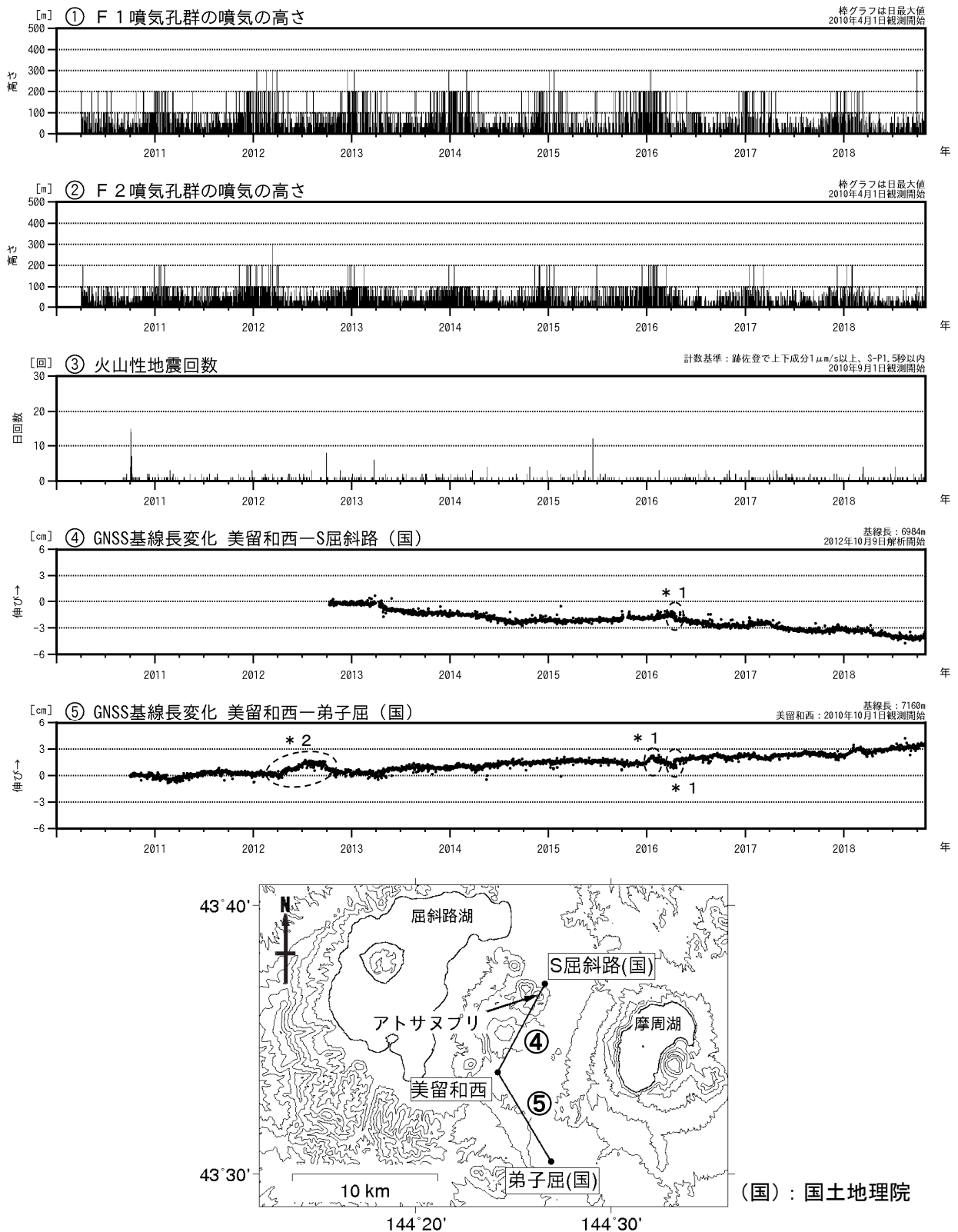


図1 アトサヌプリ 火山活動経過図(2010年4月～2018年10月)及びGNSS連続観測点配置図

④⑤のGNSS基線は観測点配置図の④⑤に対応しています。

GNSS基線の空白部分は欠測を示します。

- ・④⑤の黒破線円内の変動(*1)は、美留和西観測点の局所的な動きによるもので、火山活動によるものではないと考えられます。
- ・⑤の黒破線円内の変動(*2)は、弟子屈(国)付近の樹木の影響及び伐採(2012年9月下旬)によるものです。



図2 アトサヌプリ 北東側から見た山体の状況
(10月28日、北東山麓監視カメラによる)

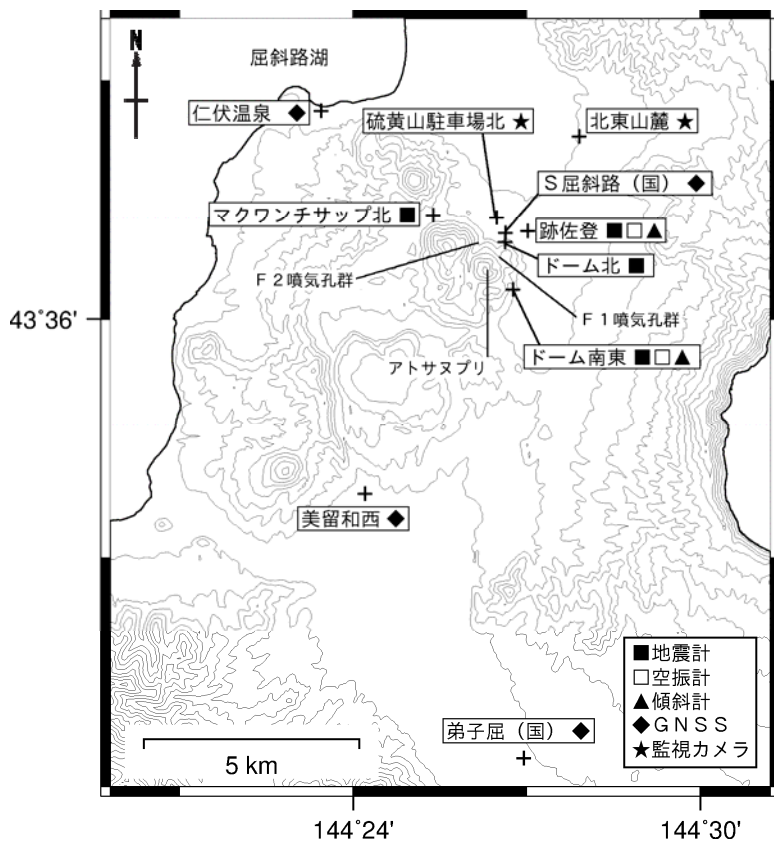


図3 アトサヌプリ 観測点配置図

+印は観測点の位置を示します。
気象庁以外の機関の観測点には以下の記号を付しています。
(国) : 国土地理院